

平成 31 年 3 月 定例教育委員会々議録

1 日 時 平成 31 年 3 月 26 日 (火) 午前 9 時 30 分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室 301

3 出席委員の氏名

教 育 長	仲 野 孝	教育長職務代理者	黒 川 優 子
委 員	山 崎 克 弥	委 員	中 野 信 男
委 員	秦 久美子	委 員	齋 藤 純 郎

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	山 田 公 一	主 幹	二 平 芳 信
学 校 教 育 課 長	宮 路 一 規	子 育 て 支 援 課 長	白 井 健 次
社 会 教 育 課 長	更 科 明 大	指 導 主 事	大 井 玲 子

5 本委員会書記

学校教育課 太 田 和 行 他 2 名

6 傍聴人

1 名

7 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第 3 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第 2 号 新規共催・後援申請について

議 案

議案第 4 号 学校医の委嘱について

議案第 5 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

議案第 6 号 燕市部活動指導員設置要綱の制定について

議案第 7 号 燕市英語指導助手の勤務条件に関する要綱の一部改正について

議案第 8 号 燕市立小中学校における事務長及び事務主任の任命について

議案第 9 号 燕市つばくろいきいきスポーツクラブ設置要綱の制定について

議案第 10 号 第 2 次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画について

議案第 11 号 燕市教育委員会組織規則の一部改正について

議案第 12 号 燕市教育委員会処務規程の一部改正について

その他

(1) 平成 31 年第 1 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1) 平成 30 年度燕市一般会計補正予算（第 12 号）の概要について
- 2) 一般質問の概要について
- 3) 燕市教育委員会教育長の任命について

(2) 平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要について

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午前9時30分～

2. 会議録署名委員の指名 中 野 信 男 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

〈各課長が報告〉

○委員（中野 信男）

小中学校の入学者数は、昨年度よりも減っているのか。

○学校教育課長（宮路 一規）

小学校では50人、中学校では30人増えている。

○委員（黒川 優子）

卒業式や卒園式に出席した際、祝辞を披露する保護者会の会長たちが名前を呼ばれても返事をしていなかった。学校で子どもたちに大きな返事をするよう指導しているのに、見本となる大人が返事をしないのは良くないので、拡大校長会の際に校長先生に指導していただきたい。

○主幹（二平 芳信）

卒業式などの式典では、教頭が行う来賓紹介時には返事をするが、式辞や祝辞披露の際には返事をしない場合もある。

○委員（中野 信男）

式典開始前に校長先生から、どちらにするか指示してもらえるといいのではないか。

○教育長（仲野 孝）

確認を行い、今後は統一した指示を行うようにする。

(2) 教育長報告

〈仲野教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 平成30年度最後の定例教育委員会となった。委員の皆様には、この1年様々な課題を共有していただきながら、教育行政を進めることができた。
- 園や学校では、保護者や地域の皆様のご協力とご支援により、園児や児童生徒が健やかに成長し、卒業や進級したものと考えている。

2 平成31年第1回市議会定例会

(1) 主な一般質問

- 今後のファミリーサポートセンター事業の展望について
- 児童虐待の市内の状況について
- 教員の多忙化対策について
- コミュニティー・スクールの導入について
- 小池中学校の防災教育と活動について
- 市内小中学校の児童生徒数の現状について
- 子育て支援施設等の環境整備について
- 保育環境整備のために民間の柔軟な発想を取り入れる必要性について
- 燕市小中学校いきいき課外活動の在り方に係る方針について
- 子育て関連施設の防犯体制について
- 燕市スポーツ推進計画について
- 国の保育制度改変の影響について

(2) 平成31年度当初予算

- 議会最終日の20日(水)に可決をいただき、予算が成立した。財政的には歳入が減っていることに合わせ、切り詰めた予算となり教育委員会でも限られた予算で最大の効果が生まれるようにしていきたい。

(3) 第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画(案)

- 最終日の本会議終了後、議員協議会でパブリックコメントの回答を示したが、計画内容については質疑もほとんどなく、また反対もなかった。今後は、地域や保護者に不安や懸念が生じないように丁寧な説明を心がけ、計画を進めていきたい。
- 幼保無償化による市の財政負担の増大も十分に考慮した上で、これまで以上に民間の柔軟な力をお借りし、それを旨く活用することが重要である。

3 平成30年度末・平成31年初の人事異動

(1) 教育委員会

- 4月1日付異動者は222人、新採用者23人であり、3月31日付での退職者は23人となった。新年度の職員数は624人で、前年度より8人少なく、この中には再任用フルタイム職員や任期付職員なども含まれている。
- 今年的人事異動の特徴は、人事交流として新潟県職員を都市整備部長に登用すること、複雑高度化する福祉ニーズに対応するため、福祉職の外部人材に登用すること、美味しく安心して食べられる給食を提供するため、栄養士を増員することである。
- 教育委員会は、昨年度より規模の大きい人事異動となり、教育次長や学校教育課長、社会教育課長が交替することになった。県などの割愛人事では、統括指導主事が新潟市教育委員会指導主事として、また、指導主事のうち1人が市内小学校の校長として転出する。

(2) 小中学校

- 小中学校合わせて6人の校長が定年退職、また、4人の校長が異動することになり、小中学校の校長20人のうち半数の10人が替わる。また、10人の校長のうち新任が5人である。また、8人の教頭が転入し、そのうち4人が新任である。
- 教諭等では、小学校で68人、中学校で30人が転出し、転入は小学校で70人、中学校で36人、新採用教諭は、小学校で16人、中学校で10人である。異動してくる教職員が本市の子ども達のために尽力してくれることを願っている。

4 3月の行事報告

(1) 職場体験学習(Good Jobつばめ)

- 3月5日(火)から14日(木)の間で、燕北中学校や小池中学校、分水中学校の1年生が市役所にも職場体験に来た。それぞれ、目的をもって体験をしてくれたものと考えているが、将来は市役所で仕事をしてみたいと抱負を語る生徒もいた。
- この事業も、実行委員会や市内企業の皆様のご厚意により3年が経過したが、年々学校での事前指導が充実し、生徒が目的をもって教科の学習と違った面で学習し、礼儀正しく振る舞う姿に感銘を受けた。

(2) 卒業式などにおける告辞

- 中学校の卒業式では、3月4日(月)に分水中学校、5日(火)は小池中学校に出席するとともに、3月22日(金)には、松長小学校で告辞を行った。どの学校でも式は、厳粛の中で行われ、それぞれの児童生徒が中学校や高校等の新しい環境で夢の実現に向けて頑張ってくれることを期待している。

- 3月20日(水)には、幼稚園やこども園での修了式が行われるとともに、3月28日(木)には保育園の卒園式と吉田西太田保育園の閉園式が予定されている。教育委員の皆様には、ご多用のところ告辞をよろしく願います。

(3) 燕市成人式

- 平成31年の成人式3月17日(日)に、燕三条地場産業振興センターで行った。今年の成人は784人が対象者であり、参加者は約659人(84%)であった。
- 式典は、落ち着いた雰囲気の中で行われ、素晴らしい式典となった。

(4) お靴のベッドの寄附

- 3月12日(火)に燕・吉田・分水のロータリークラブの皆様から、園児が履き物をうまく揃えることができるよう、今年もお靴のベッドを約1,400枚寄贈していただいた。これで18年間続いており、感謝である。
- このお靴のベッドを毎日使うことにより、「履き物が揃うと心が揃う」礼儀正しい子どもたちに育ててほしいと願っている。

■ 退任にあたって

- 教育長として、教育立市宣言の具現化をめざすとともに、市長が掲げる様々な施策にかかわらせていただく中で、やりがいを強く感じながら職務に精励し、力を尽くしてきたつもり。本市の教育行政は課題はあるものの、一歩ずつ着実に良い方向に向かって前へ前へと進んでいると感じております。
- 私が職務を続けてこられたのも、ひとえに教育委員の皆様のご支援とご協力、また、市民の皆様のご教育に寄せる大きな期待と熱い思いに感銘を受けたことが大きく影響しており、衷心より感謝申し上げます。
- 今後とも、燕市の教育がより一層充実・発展するよう、引き続きご支援をお願いするとともに、燕市がさらに輝いていくことを祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。3年間、大変お世話になり、ありがとうございました。

(3) 寄附報告

〈宮路学校教育課長が説明〉

4. 専決処分の報告について

報告第 3 号 共催・後援の教育長専決報告について

6 件の後援について

〈No. 1、5、6 について更科社会教育課長が説明〉

〈No. 2、3、4 について宮路学校教育課長が説明〉

5. 協議題

協議第 2 号 新規共催・後援申請について

3 件の共催・後援について

〈更科社会教育課長が説明〉

6. 議案

議案第 4 号 学校医の委嘱について

〈宮路学校教育課長が説明〉

議案第 5 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

〈宮路学校教育課長が説明〉

議案第 6 号 燕市部活動指導員設置要綱の制定について

〈宮路学校教育課長が説明〉

議案第 7 号 燕市英語指導助手の勤務条件に関する要綱の一部改正に
ついて

〈宮路学校教育課長が説明〉

議案第 8 号 燕市立小中学校における事務長及び事務主任の任命について

〈宮路学校教育課長が説明〉

議案第 9 号 燕市つばくろいきいきスポーツクラブ設置要綱の制定に
ついて

〈宮路学校教育課長が説明〉

○委員（斎藤 純郎）

学校が生徒のクラブ入退会に関して事務的に関わることはあるのか。あるとすれば、どれくらいのところまで関わるのか。

○学校教育課長（宮路 一規）

事務手続きは学校教育課が行うため、学校が事務手続きに関わることはない。

○委員（斎藤 純郎）

参加費及び保険料の納入先は、学校教育課になるのか。

○学校教育課長（宮路 一規）

保護者から学校教育課に納めに来てもらうことになる。

○委員（斎藤 純郎）

それらの事務を一括して、（一財）燕市スポーツ協会に委託することはできるのか。

○学校教育課長（宮路 一規）

稼働時は学校教育課で対応し、将来的には、（一財）燕市スポーツ協会にお願いする予定である。

議案第 10 号 第 2 次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画について

〈白井子育て支援課長が説明〉

議案第 11 号 燕市教育委員会組織規則の一部改正について

〈宮路学校教育課長が説明〉

議案第 12 号 燕市教育委員会処務規程の一部改正について

〈宮路学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 4 ～12 号は原案通り議決された。

7. その他

(1) 平成 31 年第 1 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1) 平成 30 年度燕市一般会計補正予算（第 12 号）の概要について
〈各課長が説明〉

○委員（斎藤 純郎）

幼稚園総務費の施設型給付費負担金の増額理由に「市外施設への入園が見込みより多かった」とあるが、どの市町村が多かったのか。

○子育て支援課長（白井 健次）

市外幼稚園への入園は 6 園あり、内訳は三条市が 4 園、新潟市が 1 園、柏崎市が 1 園となっている。

○委員（斎藤 純郎）

子ども夢基金の基金残高のここ数年の推移はどうなっているのか。

○学校教育課長（宮路 一規）

平成 27 年度末 297,511,739 円

平成 28 年度末 351,090,908 円

平成 29 年度末 243,406,240 円

平成 30 年度末 154,389,868 円（見込み）

平成 30 年度末の見込み残高が急激に減っているのは、今年度から、ふるさと納税の中で「子どもの教育のために」と寄附された分が、子ども夢基金を通さず直接教育費に充当されているためである。

- 2) 一般質問の概要について

〈山田教育次長が説明〉

- 3) 燕市教育委員会教育長の任命について

〈山田教育次長が説明〉

(2) 平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要について

〈大井指導主事が説明〉

8. 閉 会

午前 11 時 02 分

教 育 長 仲野 孝

会議録署名委員 中野 信男

会議録調整者 矢川 麻里子
